

## 資料5 ソフトコンポーネント計画書

### (1) ソフトコンポーネントを計画する背景

本計画は、1998年の内戦より中断された無償資金協力による既往案件の学校のうち、ビサウ市内の16校を対象に学校建設を再開し、ビサウ市の初等教育へのアクセス改善と学習環境の改善を目的として実施するものである。

現地調査での聞き取りによると、「ギ」国には、コミュニティーと学校関係者により構成される学校運営管理組織は存在していないものの、学校によっては父母会が存在している。この父母会組織は、会長、副会長、書記とアシスタント2名の5人で構成されており、これら役員は選挙により選出されている。父母会の会費は年間500CFAから多い学校で1,500CFA程度であるが、定期的に徴収している学校もあれば、施設の増築などが必要な場合に限り徴収している学校もあり、徴収の方法は学校によって様々である。また、入学時の学校への納付金が父母会の活動資金に充てられていた時期も過去にはあったが、初等教育の無償化に伴い、現在では学校が寄付金を徴収することは規則上できない(教育基本法12条)。現地調査時点では、計画対象校16校のうち8校が既存校であり、すべての既存校に父母会が存在していることが確認されている。

父母会により集められる会費は、仮設校舎の建設や補修などの問題になった場合に徴収され、長期的な視点から必要なメンテナンス(壁の塗装、屋根の葺き替え等)や定期的に必要な施設の備品や守衛等に充てられる目的で会費は集められていない。

このような背景から、父母会には、教育省が管理責任を負っている施設や教育家具(以下、学校施設)の維持管理の責務の意識はあるもの管理方法の技術面や金銭面を模索している段階である。一方、教育省は学校施設の維持管理の責任機関でありながらも、政府予算として過去に一度も初等教育学校施設に係る維持管理予算を計上した実績がなく、すべての公立学校では学校が建設されて以来一度も公費により維持管理と修理がなされたことがなく、学校施設が壊れていても放置されたままの状態が続いている。

加えて、父母会が設立されてはいるものの、父母による学校の清掃や維持管理が行われていない学校もある。さらに、ビサウ市内の初等教育学校では、維持管理に必要な資金を父母から定期的に徴収する額は少額であることから、持続的な維持管理に必要な資金は、父母からの会費徴収にのみ依存するのではなく、軽微な生産販売活動等の父母会の自助努力により、必要な資金を調達することが求められる。

近々に教育省が初等教育学校の維持管理予算を国家予算に計上できる見込みがないことから、本計画ソフトコンポーネントでは斯様な背景に基づく、父母会主体による学校施設の維持管理活動の必要性に係る啓蒙を行うことが必要と判断される。

このことから、本計画における学校施設の整備後、各対象校の学校関係者及び地域住民による

継続的な清掃・定期点検・保守等の軽微な維持管理と、まとまった額の資金を要する大規模な補修・改修等の長期的な維持管理計画実施のためには、父母会を中心とした学校関係者（校長、教員、生徒）に、計画的な維持管理及びそのための資金調達に係る具体的手法を理解・実践させつつ、そのプロセスに教育省関係者を関与させることで、教育省の維持管理に関する知識・能力強化及び役割の明確化を図るため、ソフトコンポーネントの実施が必要である。

## (2) ソフトコンポーネントの目標

新設校に維持管理にかかるソフトコンポーネント活動を投入するためには、父母会の設立に係る制度の整備と、教育省が父母会を設立するための能力強化活動の投入が必要となる。しかし、新設校では竣工後のソフトコンポーネント活動となり投入可能期間が短い。また教育省関係者の能力向上と学校父母会に係る制度整備が必要となることから、本計画実施期間中に十分な成果の達成が見込めない。このため、本計画対象 16 校に対する維持管理・モニタリング等のソフトコンポーネント活動は上位目標とし、本計画では、父母会の存在する既存校 8 校をパイロット校（教育省モデル校）とし、教育省関係者及び学校関係者に対し施設の維持管理や学校美化等に関する具体的手法を紹介・指導することで、その必要性・重要性を啓発しつつ、関係者の維持管理に係る知識・能力を強化することをプロジェクト目標とする。

また、パイロット校での成果をモデルとし、教育省が中心となり、パイロット校以外の他の本計画対象校 16 校を含むビサウ市内の学校に、これら維持管理及び学校美化に係る活動を普及していくことを上位目標とする。

## (3) ソフトコンポーネントの成果

投入完了時に達成されるべき状況を、下記の表に示す。

表 5-1 成果一覧表

対象	直接的効果
父母会、学校職員、地域住民	維持管理の問題点が確認され、維持管理の方向性が理解される。 学校校舎・校庭、教室、便所の清掃と美化活動の手法が理解される。
教育省職員	施設維持管理の必要性が理解される。 パイロット校以外の学校に対して、父母会の設立と学校施設維持管理に係る啓発活動を実施するための知識が習得される。

## (4) 成果達成度の確認方法

本ソフトコンポーネントで実施する活動の成果を測る指標として、学校での維持管理活動の実施回数や参加者数、活動に係る組織の設置状況を設定し、モニタリングや現地再委託業務を担当する NGO が作成する報告書、アンケート調査集計等によりデータ収集及び確認を行う。

活動終了 1 年後アンケートは、パイロット校の父母会、学校職員、及び活動に参加した地域住民を対象とし、指導された手法と知識に基づく自主的な活動が行われているかどうか（自立発展性）を確認するために実施する。着手時の基礎情報収集時と活動終了時に、アンケートによる同

一質問事項の回答を Pre-Post Evaluation (Test)により比較することで、理解度を評価する。  
 具体的には以下のとおり。

表 5-2 評価手法一覧表

対象	確認方法
父母会、学校職員、地域 住民	基礎情報(アンケート) パイロット校で実施された維持管理説明会の会議記録(報告書) 生徒による衛生美化活動の活動記録(報告書) 活動終了1年後評価調査(アンケート)
教育省職員	基礎情報(アンケート) 実施された維持管理説明会の会議記録(報告書) パイロット校以外で実施された維持管理説明会の会議記録(報告書) 活動終了1年後評価調査(アンケート)

#### (5) ソフトコンポーネントの活動(投入計画)

父母会委員からのヒアリングでは、父母会における学校施設維持管理の必要性への認識は十分にあることが確認できたが、維持管理に関する組織活動についてはまだ未成熟であるため、活動の導入にあたっては、参考事例の紹介等により知見を増やすことから始める必要がある。

本計画では、計画対象 16 校のうち、父母会が存在する既存校 8 校、No. 01/1° DE MAIO (1 学区)、No. 03/EBU DE PATRICE LUMUMBA (3 学区)、No. 04/AMIZADE GUINÉ-BISSAU SUÉCIA (4 学区)、No. 05/EBU 5 DE JULHO (4 学区)、No. 07/EBU DE CUNTUM (5 学区)、No. 09/EBU DE PLAQUE (5 学区)、No. 12/EBE DE BISSAQUE (5 学区)、No. 15/EBU DE CUNTUM (Anexo Cuntum) (5 学区) をパイロット校として選定し、学校施設の維持管理、清掃等に係る手法を説明する (No. 15/EBU DE CUNTUM (Anexo Cuntum) は、No. 09/EBU DE PLAQUE の附属校では 1 つの父母会で活動しており既存校 8 校に 7 つの父母会が存在する)。

将来的には、教育省は、維持管理の予算確措置を行いその予算を各学校に配分、父母会の設立の指導、維持管理の情報や知識の提供を行う。

学校施設の維持管理に係る知識が不足している現状に鑑み、補修が必要な事態が発生した際のリファレンスとして活用できるようなガイドブックやポスター等を新たに作成し対象校に配布・指導する。

現地事情に則した維持管理方法を指導するため、「ギ」国における学校施設の維持管理能力強化支援に実績のある NGO に協力を依頼し、父母会や学校関係者向けのポルトガル語と現地語を併記した維持管理ガイドブックの作成、及びそれに基づく説明・指導を中心とする業務を再委託する。

さらに、将来に教育省が自助努力で維持管理に係る指導を行うため、基礎的知識及び手法を教授することを目的とした教育省向け研修を実施する。

### 1) 計画説明会と基礎情報収集活動の実施

本体工事に先立ち、NGO を活用して本計画対象校 16 校すべての地域住民に対する計画の概要説明と、ソフトコンポーネント対象とする 8 校にソフトコンポーネント活動の実施に必要な地域社会と学校に係る基礎情報収集を実施する。

### 2) 施設維持管理と学校衛生活動の指導

パイロット校の父母会に対し、学校施設の維持管理に係る必要性を説明するとともに、維持管理ガイドブックを用いた学校施設の補修指導を行う。

また、生徒による学校衛生クラブの結成を支援し、学校施設の清掃・美化活動を指導する。

維持管理ガイドブックは、近隣国でのソフトコンポーネントのマニュアル等を参考とし、NGO の有する現地での指導ノウハウを生かして編集し、対象校等に配布・指導を行う。

内容は、本計画により設備される施設・家具が破損した場合の修繕方法、整備される便所と給水施設を利用する衛生管理の啓蒙、施設の清掃と美化に係る参照事項、から構成されるものとする。文字を読めない人にも最低限理解されるよう、説明文に頼らず、絵や図表を主体とした視覚的にわかりやすい簡素なガイドブックとする。

また、業務を再委託する NGO が、維持管理に必要な活動と資金調達・管理の方法を学校毎にカウンセリングし、適切な手法を提案する。

### 3) 教育省関係者に対する施設維持管理の指導

新設校に対し、教育省職員が主体的となり、父母会の設置と学校施設維持管理の必要性を説明することができるよう、指導を行う。このため、パイロット校における父母会の維持管理能力強化活動に教育省関係者を参加させ、説明会の開催方法や維持管理に係る指導方法に関するオンザジョブトレーニングを行うとともに、NGO が実施する類似プロジェクトによる成果を、指導書(パンフレット)として紹介する。

ソフトコンポーネントの活動目的及び内容を以下に示す。

表 5-3 ソフトコンポーネント活動計画(2012 年 5 月から 2014 年 2 月)

活動目的	活動内容	実施期間	実施協力者
0. 計画説明会と基礎情報収集活動の実施			
0.1. 計画概要の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育省関係者、市役所担当者、学校関係者(父母会、教職員、地域住民)との事前協議を行う</li> <li>・計画概要とスケジュールの説明(パイロット校関係者)</li> </ul>	2012 年 5 月	DGEPASE, NGO, SAB、地域活動組織
0.2. 計画内容の協議と基礎情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画内容の協議(教育省関係者、市役所担当者)</li> <li>・聞き取り調査・アンケート(学校関係者)</li> <li>・維持管理資金の調達方法調査</li> </ul>	2012 年 6 月	DGEPASE, NGO, SAB、地域活動組織
1. 施設維持管理と学校衛生活動の指導			
1.1.	・ポルトガル語で作成し、内容と仕様を関係者に分かりや	2012 年 10 月～	DGEPASE, NGO

維持管理ガイドブックの作成	すいものに編集した上で、現地語（クレオール語）に翻訳し、各校 10 部ずつ合計 200 部程度作成する。	12 月	
1. 2. 維持管理活動の説明と実施指導（パイロット校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理の必要性の啓発（父母会及び学校管理者）</li> <li>・維持管理ガイドブックに基づき、維持管理・補修の指導</li> <li>・学校毎の維持管理の年間計画の作成指導</li> </ul>	2013 年 1 月～2 月、2013 年 9 月～10 月	DGEPASE, NGO, SAB、地域活動組織
1. 3. 学校衛生クラブ組織の設立を指導（パイロット校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による学校衛生クラブの設立を支援し、学校美化活動の実施指導</li> <li>・活動成果の発表を支援</li> </ul>	2013 年 1 月～6 月、2013 年 9 月～2014 年 2 月	DGEPASE, NGO, SAB
1. 4. 維持管理資金の調達・管理方法の説明・指導（パイロット校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理に必要な資金調達・管理の方法を指導</li> </ul>	2013 年 1 月～6 月、2013 年 9 月～2014 年 2 月	DGEPASE, NGO, SAB、地域活動組織
1. 5. 維持管理年間計画の策定の支援（パイロット校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理に必要な維持管理計画の策定方法を指導</li> <li>・策定された計画の発表</li> </ul>	2013 年 1 月～6 月、2013 年 9 月～2014 年 2 月	DGEPASE, NGO, SAB
2. 教育省職員に対する学校施設維持管理の指導			
2. 1. 維持管理の指導方法の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NGO が、施設維持管理に関する活動事例及び具体的手法、実施成果を説明</li> </ul>	2013 年 3 月、2014 年 1 月	DGEPASE, NGO, SAB
2. 2. 父母会と学校運営管理委員会に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NGO が、父母会と学校運営管理委員会の活動及び支援方法の事例、具体的手法と、実施成果を説明</li> <li>・NGO が父母会の設立に関して説明</li> </ul>		
3. 活動支援成果のモニタリング			
3. 1. 活動終了 1 年後評価調査（パイロット校と教育省職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務完了 1 年後に、パイロット校における活動実施状況の確認</li> <li>・維持管理活動に関する教育省、学校関係者、行政関係者による会合及び情報交換の実施状況の確認</li> </ul>	2015 年 1 月～2 月	DGEPASE, NGO, SAB、地域活動組織

#### 4) 活動計画にかかる補足説明

以下、上記活動内容につき、補足説明する。

##### ①維持管理ガイドブック（パンフレット）の編集及び作成、現地語への翻訳、配布

パンフレットは計 200 部（ポルトガル語 1/2、クレオール語 1/2）作成し、新設校を含む計画対象校に各 10 部（校長室に常備）、自助努力により計画終了後他校の指導に利用するため DGEPASE に 20 部（10 校への指導を想定）、ビサウ市役所に 20 部（5 つの学校区の初等教育視学事務所に各 2 部、ビサウ市役所に 10 部）ずつ配布する。パンフレットの体裁及び内容は、教育省等との協議の結果を踏まえ確定し、簡素な体裁を想定する。

##### ②学校運営管理委員会の設立を促す。

すべてのパイロット校の父母会に、資金調達、計画立案、実施を通じた継続的な維持管理を可能にするため、各学校の特徴を生かした資金調達の方法や資金の管理方法を話し合う。また、父母会組織の運営維持能力がある学校では、学校運営管理委員会を設置、規約の制定、各対象校の

運営維持管理責任者の明確化の必要性を説明する。教育省に対して、学校運営管理委員会(学校関係者、父母会員、地域住民などで構成される)の設立する意義について説明・提案する。

③維持管理活動の説明を行う。

パンフレットに基づき、対象校学校施設の維持管理に関し、短期的には、学校美化の啓発、教室・廊下・便所の清掃、中期的には、便槽の清掃、家具や教室の物入れのメンテナンス、長期的には、屋根の葺き替え、壁の塗り替えについて役割分担・活動計画を指導し、実施に向け支援する。

④学校衛生活動組織の設立を指導する。

生徒による学校衛生クラブを各校2チームずつ編成し、学校美化活動を実施するよう指導する。活動成果は、指導成果発表会の場でクラブ代表が発表する。

⑤ 維持管理資金調達方法を提案する。

父母会は生徒の父母から会費を徴収することができるが、実際に集金を実施している初等教育学校はあるがすべての学校ではない。各学校の父母会の活動は、学校外の情報はない状態で活動しており運営能力にはばらつきがある。また、以下の表に示すように、入学時のみ父母会費を集金した場合、生徒1人につき1,000CFAを徴収しても、本計画で整備される施設の想定される年間修繕補修費は不足する。

表5-4 維持管理費と父母会費比較

N°	学校名	2013年度 想定生徒数 (人)	本計画による整 備校舎年間修繕 費	父母会費 (集金年1回) CFA	父母会費 (入学時のみ集 金) CFA
01	1° DE MAIO	771	305,129	771,000	128,500
03	EBU DE PATRICE LUMUMBA	648	107,677	648,000	108,000
04	AMIZADE GUINÉ-BISSAU SUÉCIA	951	220,440	951,000	158,500
05	EBU 5 DE JULHO	932	220,440	932,000	155,350
07 +15	EBU DE CUNTUM I+ EBU DE CUNTUM II (Anexo Cuntum I)	1,342+643 =1,985	525,570+444,746 =970,316	1,985,000	33,0850
09	EBU DE PLAQUE II	554	139,617	554,000	92,350
12	EBE DE BISSAQUE	1779	610,259	1,779,000	296,500

注記：年間1,000CFA/生徒あたりと仮定

教育省は、本計画により整備される学校施設の修繕補修費の予算計上を努めるよう協議して行くが、引き続き予算の確保は難しい状況が続くと予想されるため、各学校に適した資金調達の方法を提案する。

共通の資金源は、年間の父母会費からの資金とし、可能な学校では識字教育組織やコミュニティー組織からの募金の協力とする。

各学校の建設されている地域の特徴を生かした資金源を下記に示す。住宅地内の学校では、近隣のボーイス(ガール)スカウトの組織との協力による募金や、郊外の人口密度の低い地区では、野菜、果物等の栽培や父母による軽微なボランティア活動等を提案する。

表 5-5 想定される学校運営維持管理資金調達方法

番号	学校名	想定される資金源案 (共通資金源：年間の父母会費)
01	I° DE MAIO	土ブロックの製作販売、ボーイ(ガール)スカウトの組織との協力による募金
03	EBU DE PATRICE LUMUMBA	NGO 支援(運営維持管理)
04	AMIZADE GUINÉ-BISSAU SUÉCIA	作物(野菜、花)の育成販売
05	EBU 5 DE JULHO	作物(野菜、花)の育成販売、ボーイ(ガール)スカウトの組織との協力による募金
07 +15	EBU DE CUNTUM I+ EBU DE CUNTUM II (Anexo Cuntum I)	ボーイス(ガール)スカウトの組織との協力による募金
09	EBU DE PLAQUE II	敷地内の井戸からの水販売、ボーイ(ガール)スカウトの組織との協力による募金
12	EBE DE BISSAQUE	作物(野菜、花)の育成販売、カシューワイン販売

## (6) ソフトコンポーネントの実施リソースの調達方法

### 1) 活動体制

ソフトコンポーネントの活動主体は、日本人コンサルタント(1名)とローカル NGO スタッフ(業務主任/総括:1名、技術指導員:2名、非常勤会計:1名、非常勤監査役:1名、地区管理者:1名)により構成される。日本人コンサルタントは、NGO とソフトコンポーネント活動内容・計画につき確認・協議し、施工監理中、ソフトコンポーネント活動を視察・監督する。日本人コンサルタントの現地不在時には、NGO はソフトコンポーネントの活動内容・進捗状況・結果につき、定期的に報告書を作成し、日本人コンサルタントに報告する。日本人コンサルタントは、現地調査と上記 NGO の活動報告書に基づき、ソフトコンポーネント活動内容・進捗状況を監理し、必要とあれば修正を行う。

### 2) ソフトコンポーネント活動ローカルリソース

ソフトコンポーネント活動のローカルコンサルタントに求められる要件は、

- ①「ギ」国での学校施設維持管理の支援活動の実績
- ②父母会を対象とした学校関係プログラムを実施した経験とノウハウ
- ③学校施設の維持管理に関するノウハウ
- ④維持管理資金捻出のための父母会活動に関する技術指導の実績
- ⑤教育省関係者との連絡体制及び面識を得ている

⑥ドナーの財政支援によるプロジェクト再委託の実績がある NGO である。

現地調査期間中、2 団体（ADPP: Ajuda de Desenvolvimento de Povo para Povo と PLAN INTERNATIONAL）に対し、説明・聞き取りを行い、両者がプロポーザルを提出したがこれら 2 団体のうちいずれかを選定する予定である。

#### (7) ソフトコンポーネントの実施工程

ソフトコンポーネントの活動は、学校年度（9月～6月）を1サイクルとして活動を行うこととし、実施行程表を添付資料1に示す。日本人コンサルタントは、教育省関係者との合意に基づく指導・協力内容と全体スケジュールを策定し、ローカルコンサルタントを活用しながら、順次、投入と成果を評価し、技術指導を実施するものとする。全体の流れは以下を想定している。

##### 1) 事前準備

国内にて、想定される説明資料、各種フォーマット、業務フローチャート等を準備する。

##### 2) ローカルコンサルタントフェーズ1 契約～ 工事業者契約(第1期<sup>1)</sup>)

本計画の受注業者が決定するまでに、日本人コンサルタントはローカルコンサルタントを活用し、計画説明と情報収集活動を行う。進捗状況報告書(第1回)を作成する。

##### 3) ローカルコンサルタントフェーズ2 契約～中間指導(第2期)

ローカルコンサルタントが主体となり、パンフレットの作成、教育省関係者への指導、パイロット校への父母会に対する維持管理活動と年間計画策定にかかるワークショップ、生徒による学校衛生クラブの設立を指導する。進捗状況報告書(第2回)を作成する。

##### 4) ローカルコンサルタントフェーズ3 契約～(第3期)

ローカルコンサルタントが主体となり、第2期において指導された活動にかかるモニタリングとフォローを行い、完了報告書を作成する。

##### 5) 竣工1年後

ローカルコンサルタントが、評価アンケート調査を実施する。事後調査報告書を作成する。

#### (8) ソフトコンポーネントの成果品

本計画ソフトコンポーネントの成果品は、手引き書となる維持管理ガイドブックと、これらを使用した啓蒙活動の記録、及び一連の指導によりパイロット校と教育省で自主的に進められる学校運営・施設維持管理、及び美化・衛生に係る活動及びモニタリング記録である。

表 5-6 ソフトコンポーネントの成果品

対象	成果品
父母会、学校職員、地域住民	基礎情報アンケート報告書(Pre-test) 説明会議事録(パイロット校) 維持管理ガイドブック 活動終了1年後評価調査(アンケート)報告書(Post-test)

<sup>1</sup> 第1期～第3期の区分けは、添付資料1ソフトコンポーネント実施工程表を参照。



教育省職員	説明会議事録(教育省/パイロット校/パイロット校以外) 研修指導書 活動終了1年後評価調査(アンケート)報告書
-------	---

(9) 評価指標

成果指標は以下の内容とする。

表5-7 ソフトコンポーネントの成果指標

対象	成果指標
父母会、学校職員、地域住民	実施された維持管理活動説明会の回数及び参加者数(パイロット校) 学校衛生クラブ組織の数(パイロット校) 資金管理捻出方法の説明回数と参加者数(パイロット校) 年間計画に係る計画(パイロット校)
教育省職員	実施された父母会活動説明会の回数と教育省職員の参加人数 実施された維持管理活動説明会の回数と教育省職員の参加人数

(10) ソフトコンポーネントの概算事業費

表5-8 ソフトコンポーネント事業費

費目	円ポーション	現地ポーション(CFA)	合計(円)
1. 直接経費	6,173,360	51,620,032	15,155,245
(1) 交通費	5,383,360		5,383,360
(2) 日当宿泊費	790,000		789,000
(3) 車輛調達費		3,120,000	542,880
(4) 現地再委託費		48,500,032	8,439,005
2. 直接人件費	1,390,400		1,390,400
3. 間接費	1,779,712		1,779,712
合計	9,343,472	51,620,032	18,325,357

(11) 相手国実施機関の責務

本ソフトコンポーネントでは、パイロット校の父母会のみならず、教育省関係者の能力強化を支援することも、プロジェクト目標として設定している。これは、学校施設の維持管理の必要性の認識が、教育省においても未だ十分とはいえないためである。実施機関である DGEPAASE は、ソフトコンポーネントの担当部局と連携し、訓練を受ける人員を配置するとともに、活動に必要な予算措置を行うことが要求される。

ソフトコンポーネント実施工程

内容		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
計画準備段階																										
No	内容																									
1 1.	計画対象校16校 計画説明会																									
1 2.	パイロット校 情報収集																									
実施段階																										
2 1.	計画対象校16校他 運営維持管理ガイドブックの作成																									
2 2.	パイロット校 維持管理の序発及び実施指導																									
2 3.	パイロット校 学校衛生クラブの設立																									
2 4.	パイロット校 資金管理及び捻出方法の指導																									
2 5.	パイロット校 年間計画の策定																									
2 E1.	教育省 学校への啓発・指導方法の技術移転																									
2 E2.	教育省 父代会と学校運営委員会の設立指導																									

第1期	第2期	第3期
フェーズ1(業者契約まで)	フェーズ2(着工～竣工まで)	
建設工事スケジュール		
図書承認→入札 業者契約		
着工		
竣工		

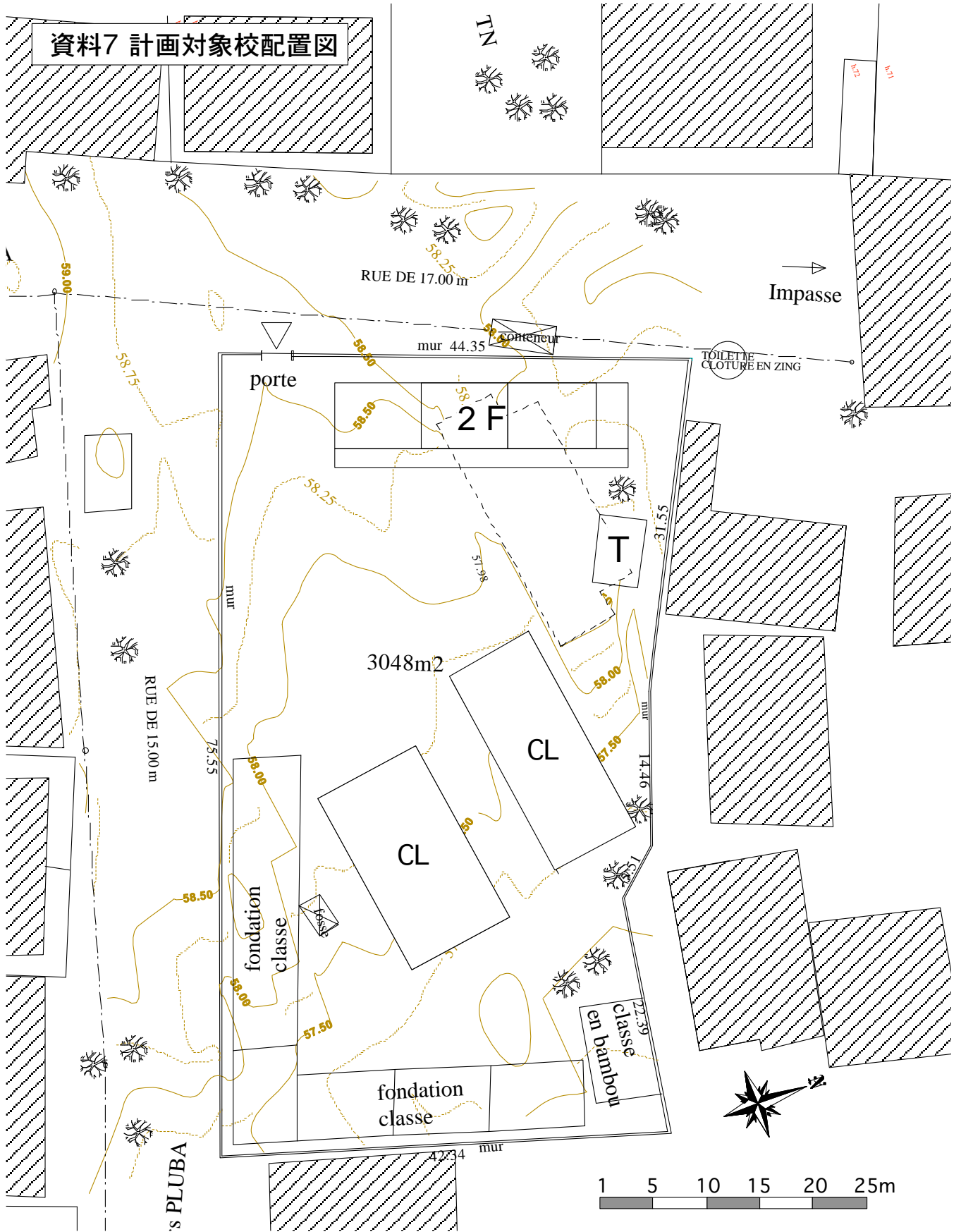
内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
日本人コンサルタント																									
ローカルNGO																									

資料6 参考資料 収集資料リスト

番号	区分	資料名	購入	寄贈	部数	サイズ	項数	備考
1	原文名称	LEI DE BASES DO SISTEMA EDUCATIVO		○	1	A4	27P	
	和文名称	教育基本法						
2	原文名称	Plan Triennal pour le Développement de l'Education 2011-2013		○	1	A4	128P	
	和文名称	教育開発3カ年計画						
5	原文名称	3º Recenseamento Geral da População e Habitação RESULTADOS DEFINITIVOS		○	1	パン フレッ ト	2P	
	和文名称	第3回国勢調査結果概要 (最終版)						
3	原文名称	REGULAMENTAÇÃO DOS CONTRATOS PÚBLICOS BISSAU 22de Novembro 2002		○	1	A4	76P	
	和文名称	ギニアビサウ国 公共調達契約規定 2002年11月						
4	原文名称	BOLETIM OFICIAL (LIPÚBLICA DA GUINÉ-BISSAU) 3º SUPLEMENTO 1986 Número 14		○	1	A4	168P	
	和文名称	ギニアビサウ国 労働法 1986年 14号						
6	原文名称	Relatório de Apresentação (Ministério das Finanças) 11/7/2010		○	1	A4	26P	
	和文名称	国家予算計画書 (財務省) 2010年11月 [抜粋]						
7	原文名称	EXECUÇÃO ORÇAMENTAL OGE2010 (Ministério da Educação) 11/7/2010		○	1	A4	2P	
	和文名称	教育省予算書 (2010年度)						
8	原文名称	PRESENTATION DES PRINCIPAUX INDICATEURS(PROVISOIRE) DU SYSTEME EDUCATIF DE LA GIONEE-BISSAU ANNEE SCOLAIRE 2009-2010		○	1	A4	96P	
	和文名称	ギニアビサウ国 教育システムの主要指標(暫定) (2009-201年度)						
9	原文名称	LISTA DE EMPRESAS INSCRITAS		○	1	A4	13P	
	和文名称	インフラ省登録会社リスト						
10	原文名称	ÉTUDE DE FORMATION DÉTAILLÉE DU PROGRAMME DE RÉHABILITATION DES INFRASTRUCTURES SOCIALES EN GUNÉE BISSAU(Juin 2007)		○	1	A4	18P	
	和文名称	ギニアビサウ国、リハビリテーションプロジェクト (EU) 2007年6月						
11	原文名称	PROJET RÉHABILITATION GUINÉE-BISSAU AGEOPPE/GTZ (Lot no 01~07)		○	1	A4	134P	
	和文名称	ギニアビサウ国、リハビリテーションプロジェクト (GTZ-AGEOPPE) 応札結果評価レポート [ロット1~7]						
12	原文名称	RAPPORT D'ÉVALUATION DES CONSULTABTS (AGEOPPE)		○	1	A4	168P	
	和文名称	コンサルタント選定レポート						
13	原文名称	RAPPORT D'ÉVALUATION DES OFFERS RECOMMANDATION POUR L'ADJUCATION DU MARCHÉ		○	1	A4	177P	
	和文名称	建設会社評価レポート						
14	原文名称	PROJET DE CONSTRUCTION PROTOTYPE 2 SALLES DE CLASSES PLAN d'exécution( FONDS AFRICAIN DE DEVELOPPEMENT)		○	1	A4	15P	
	和文名称	2教室タイプ他例 (アフリカ開発銀行) /参考図面						

15	原文名称	PROTOTYPE 3 SALLES FINANCIAMENO TPLAN Guine Bissau		○	1	A4	30P	
	和文名称	3教室タイプ他例 (PLAN/NGO) /参考図面						
16	原文名称	ARCOP ,LDA BISSAU		○	1	A4	25P	
	和文名称	建設会社概要 (ARCOP)						
17	原文名称	AR. ARQUITECTOS REUNIDOS, LTD		○	1	A4	5P	
	和文名称	設計事務所会社概要 (AR社)						
18	原文名称	CFAO MOTORS GUINÉE BISSAU (FACTURA PROFORMA)		○	1	A4 (パンフ レット)	2P (20P)	
	和文名称	車輛販売店 (CFAO) 見積もり資料						
19	原文名称	DOLFI MOTORS GUINÉE BISSAU (FACTURA PROFORMA)		○	1	A4 (パンフ レット)	1P (10P)	
	和文名称	車輛販売店 (DOLFI) 見積もり資料						
20	原文名称	ADPP Annual Report 2009		○	1	A4	34P	
	和文名称	ADPP (NGO) レポート 2009年						
21	原文名称	Bureau d'Études Technique Plus - S.A . (BET)		○	1	A4	5P	
	和文名称	会社概要 ( BET/地質調査会社)						

資料7 計画対象校配置図



凡例



計画建築物



残存構造物



既存建築物



便所



校長室/物入れ



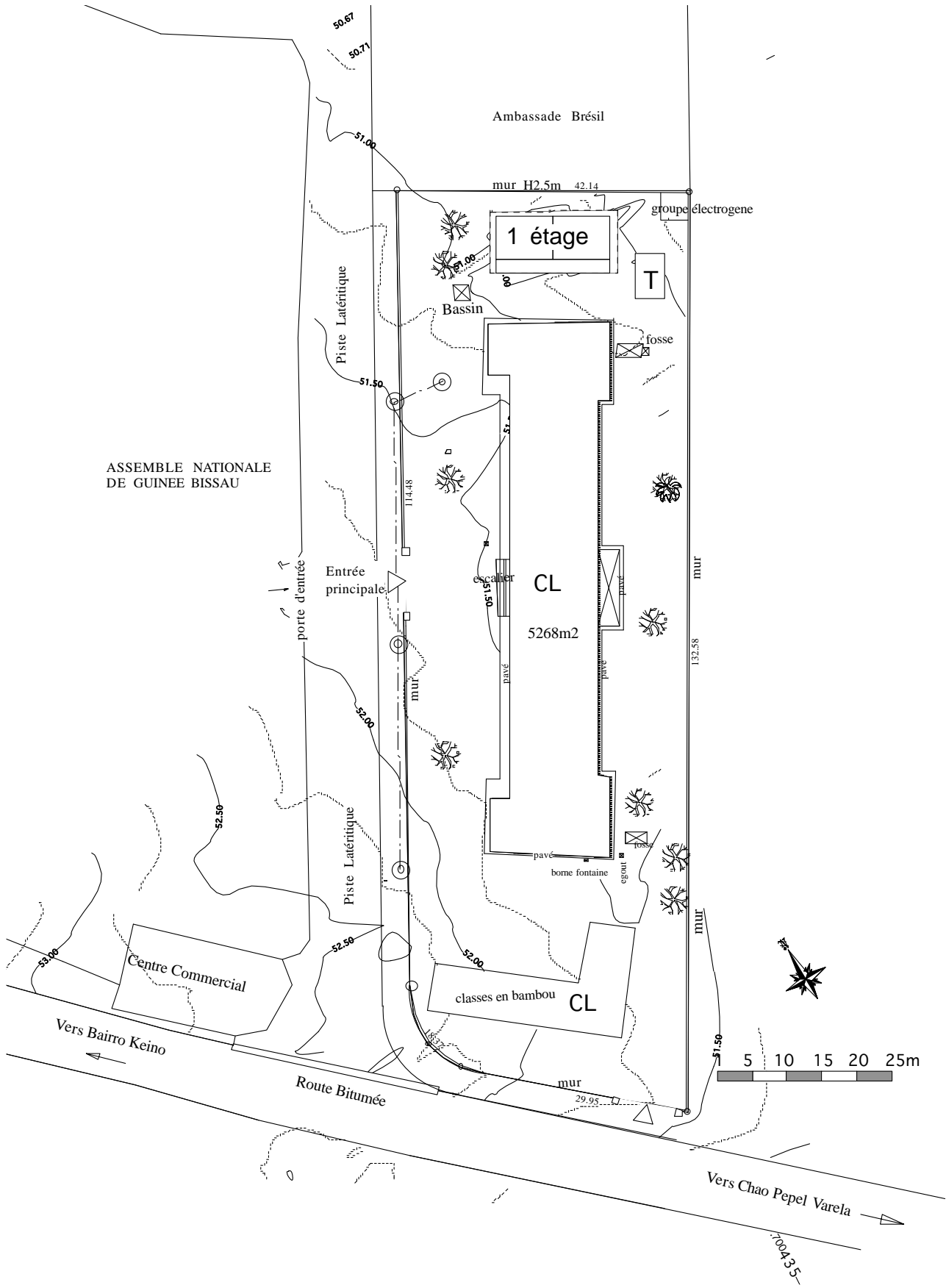
住宅











電線

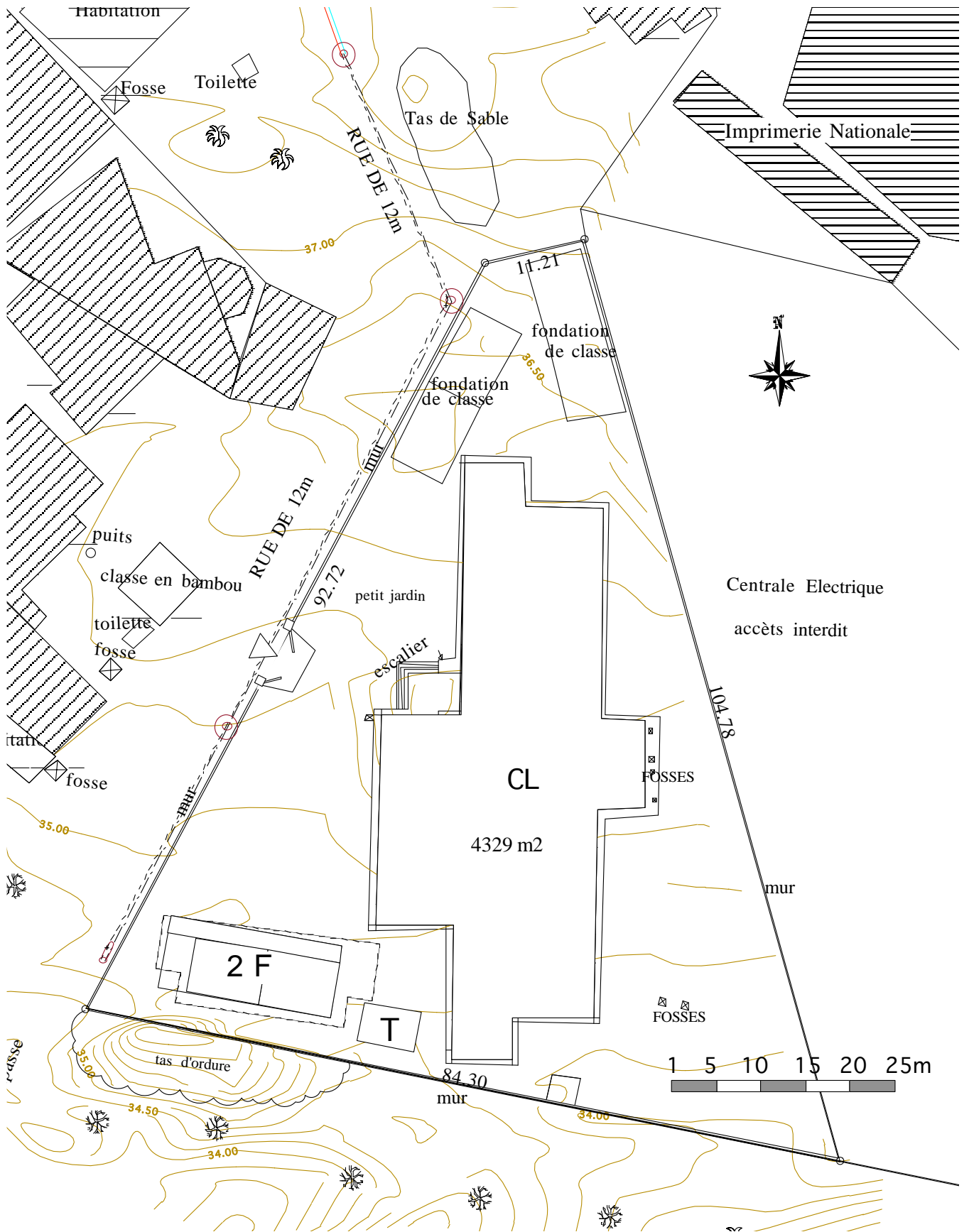


電話線



凡例

- |   |       |   |         |   |     |
|---|-------|---|---------|---|-----|
|  | 計画建築物 |  | 既存建築物   |  | 住宅  |
|  | 残存構造物 |  | 便所      |  | 電線  |
|   |       |  | 校長室/物入れ |  | 電話線 |

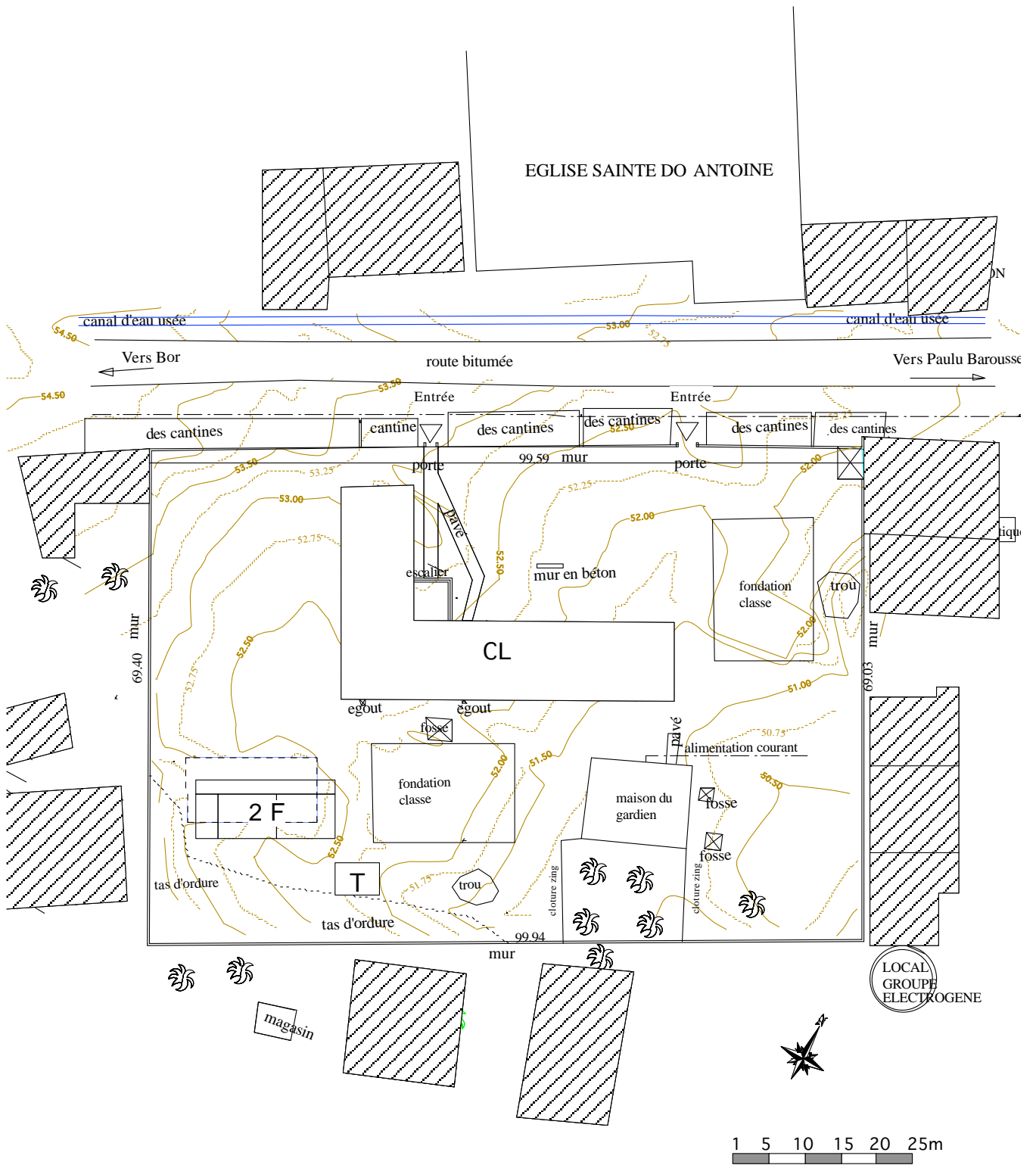


凡例

- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線



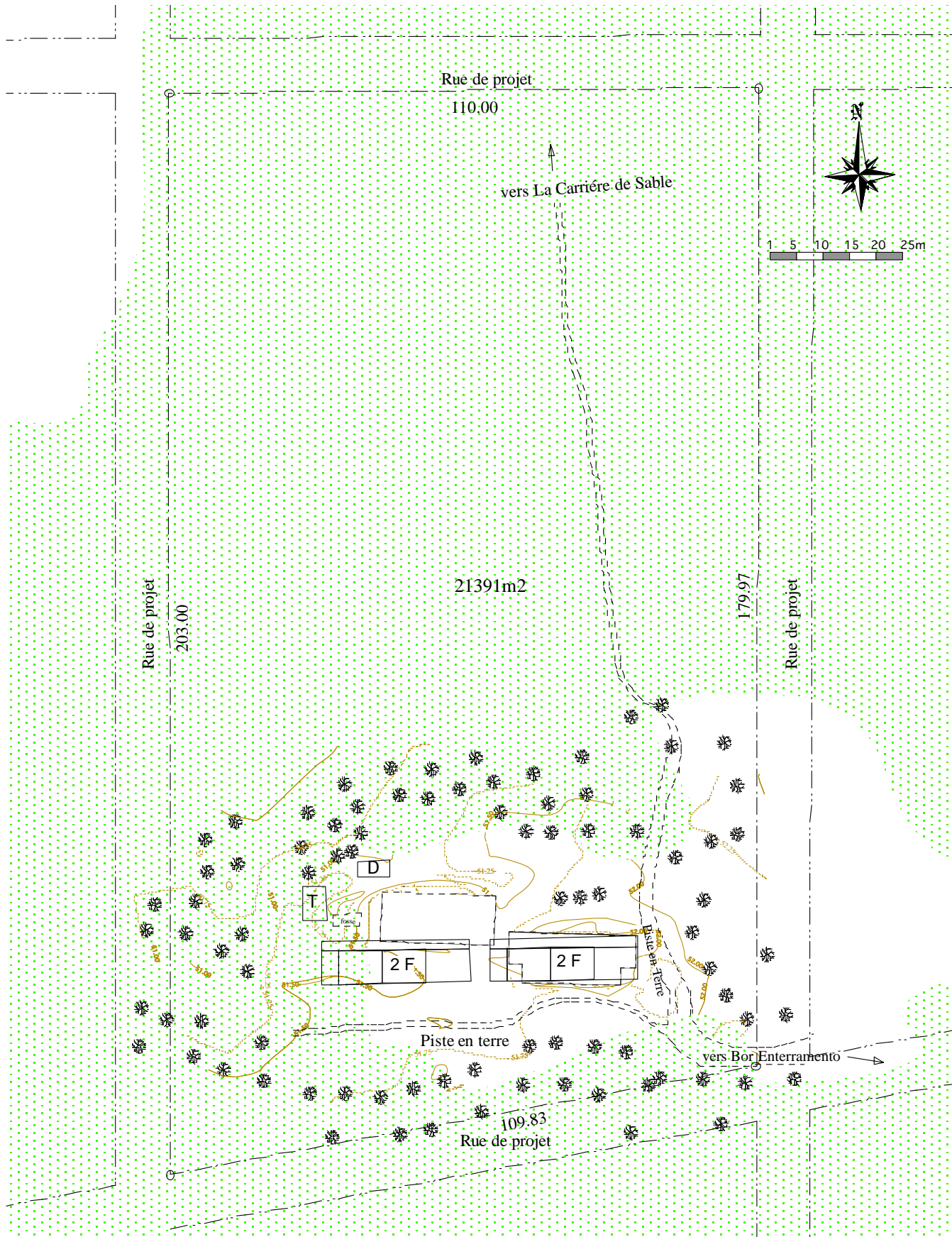
凡例

- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

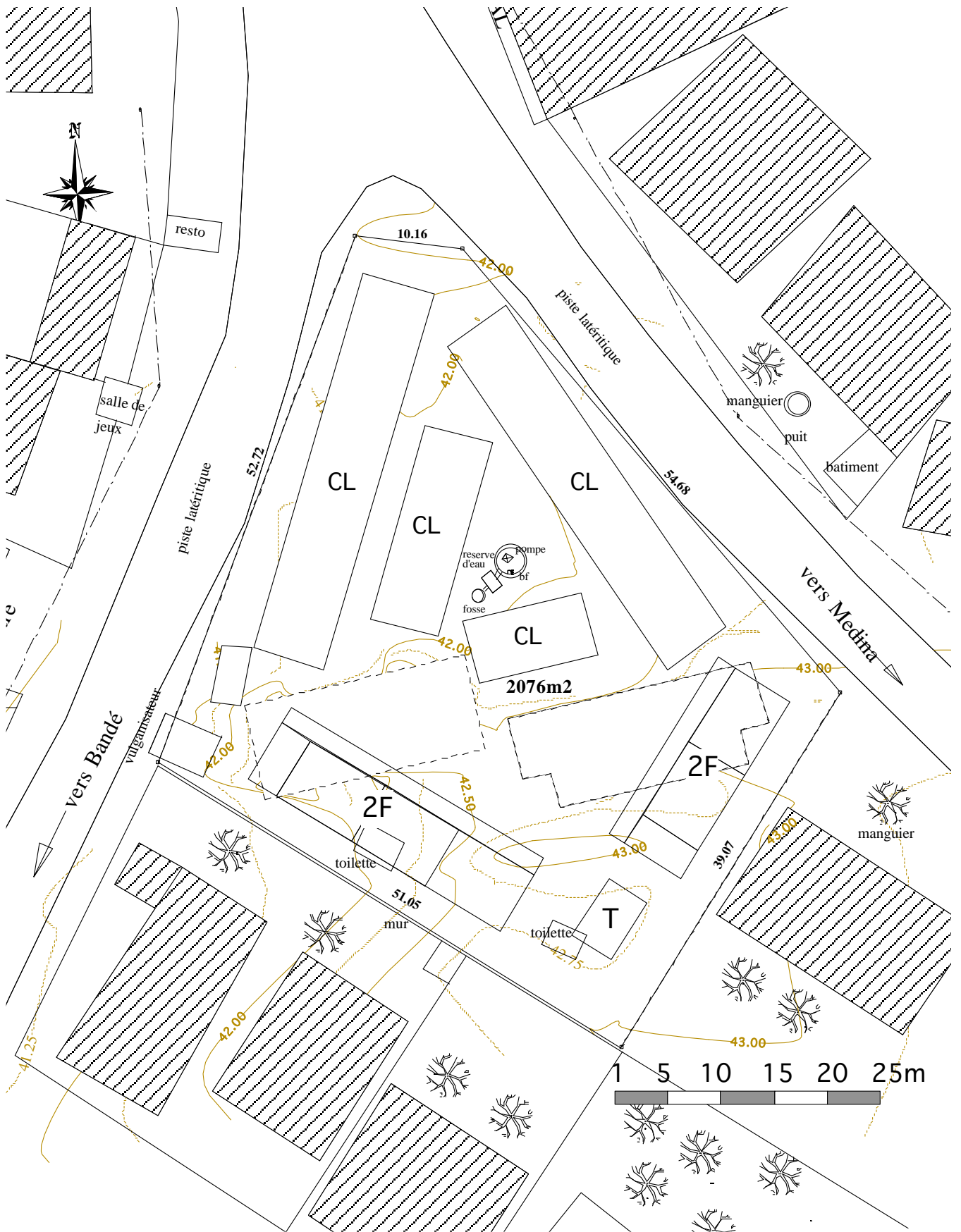
- 住宅
- 電線
- 電話線





凡例

- |   |       |   |         |   |     |
|---|-------|---|---------|---|-----|
|  | 計画建築物 |  | 既存建築物   |  | 住宅  |
|  | 残存構造物 |  | 便所      |  | 電線  |
|   |       |  | 校長室/物入れ |  | 電話線 |

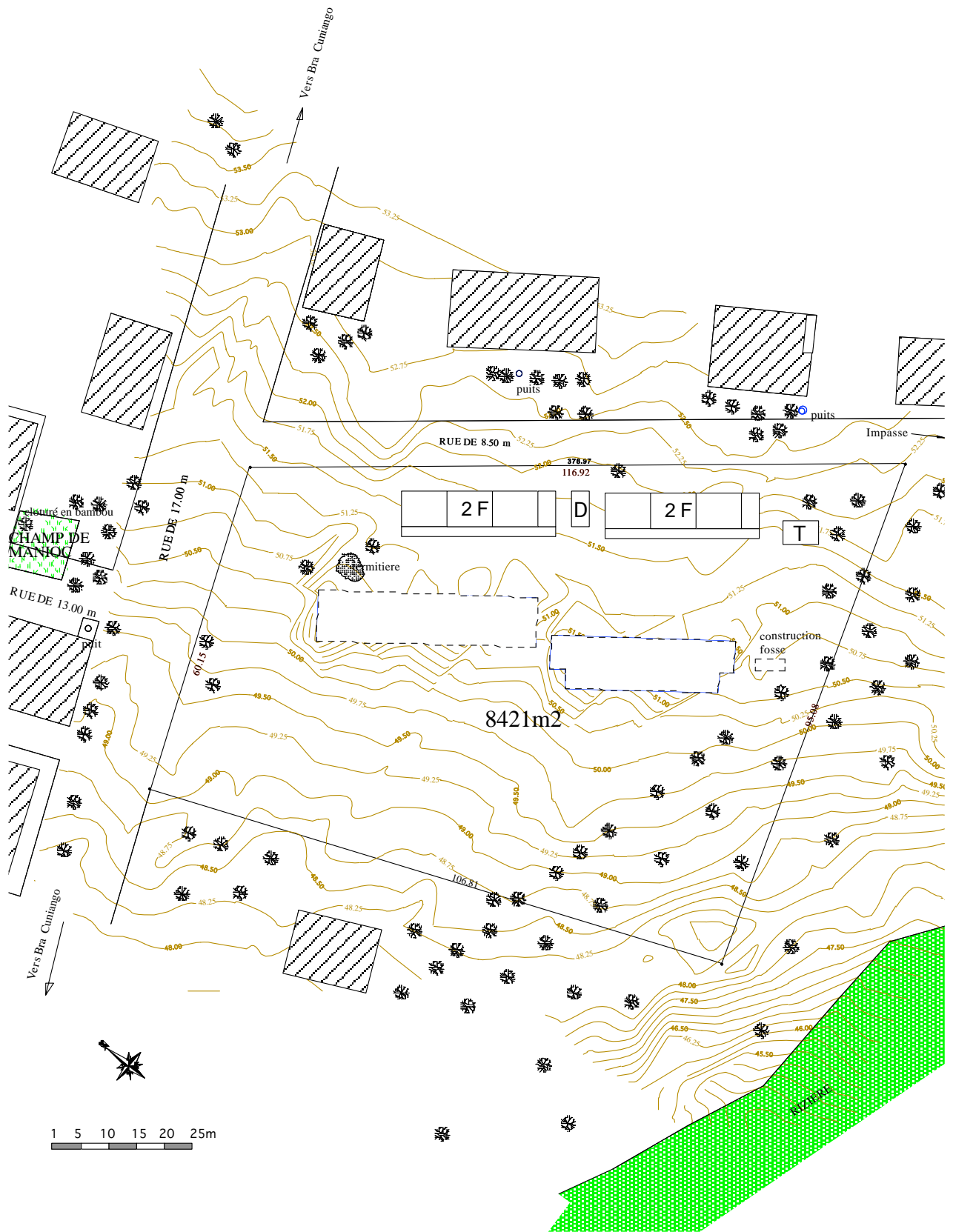


凡例

- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線

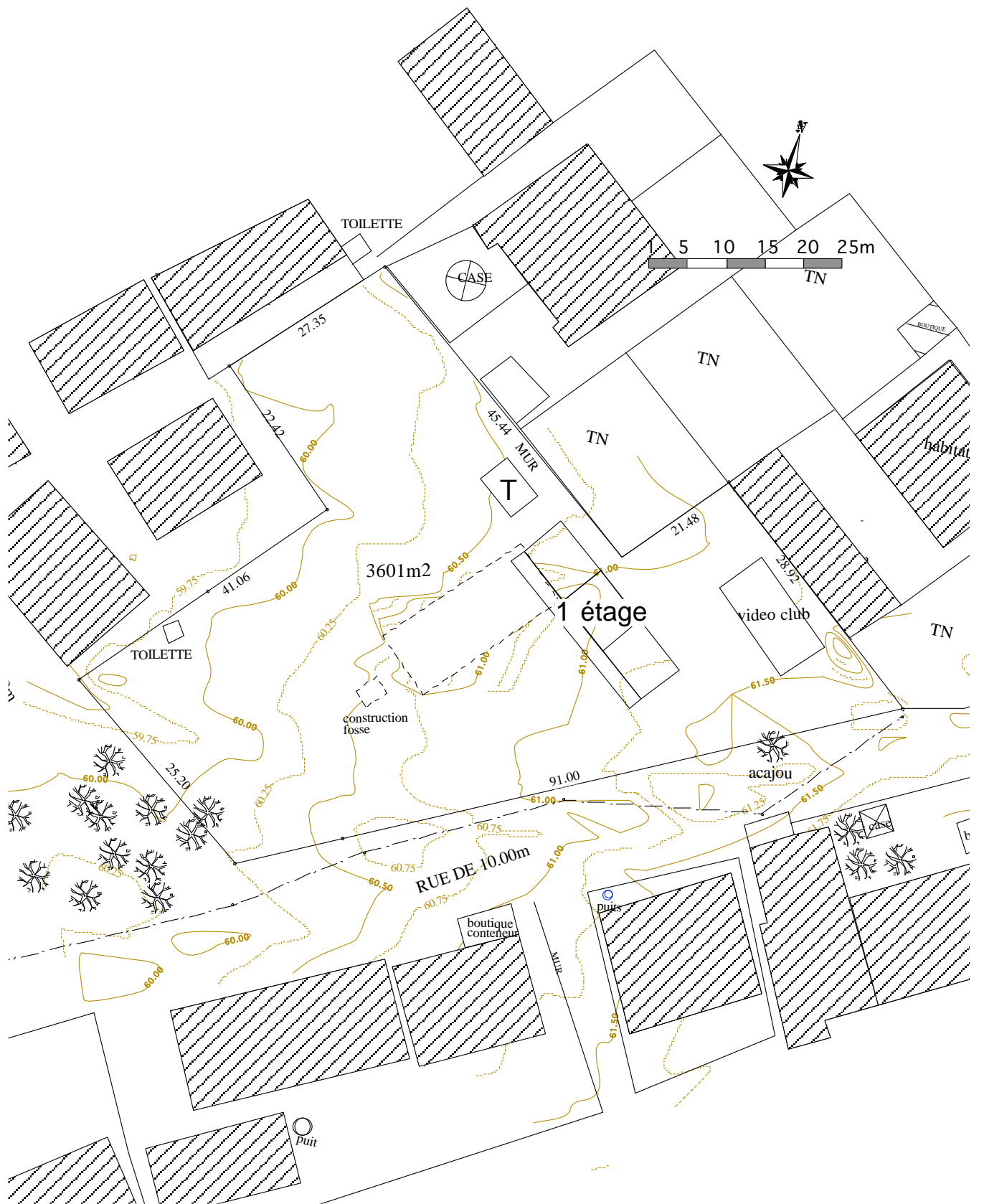


凡例

- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線

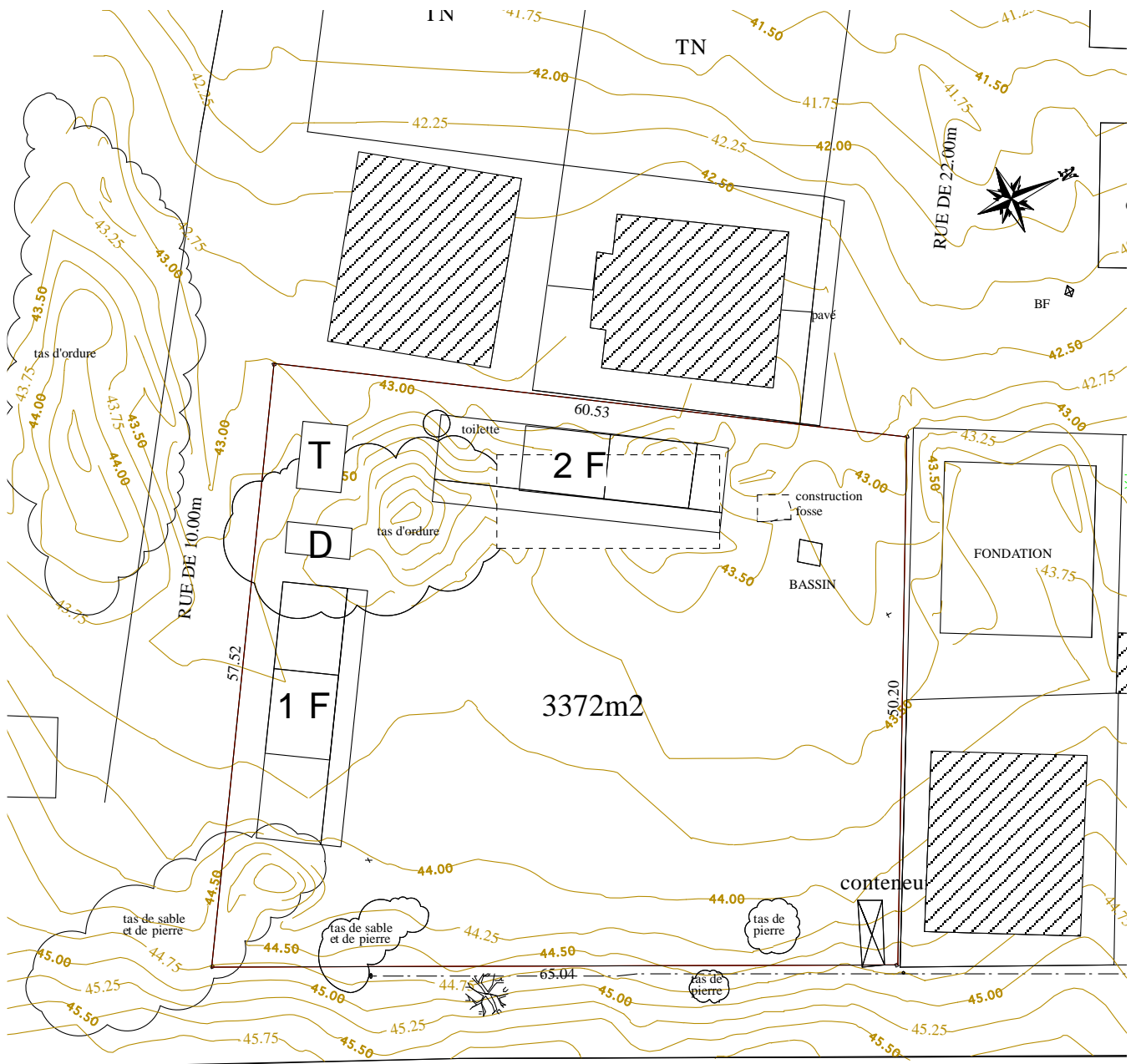


凡例

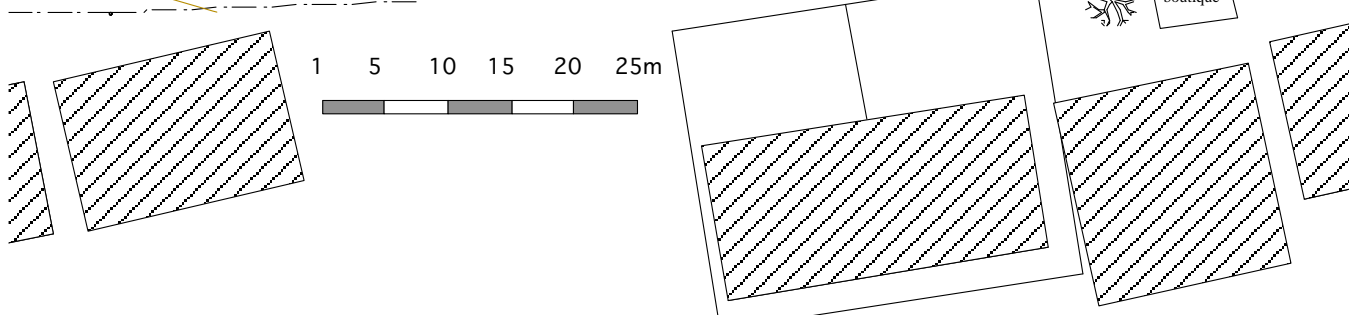
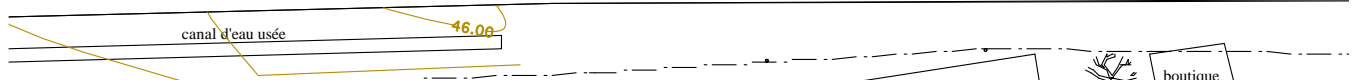
- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線



vers QG Santa Luzia      ROUTE BITUMEE      vers antula

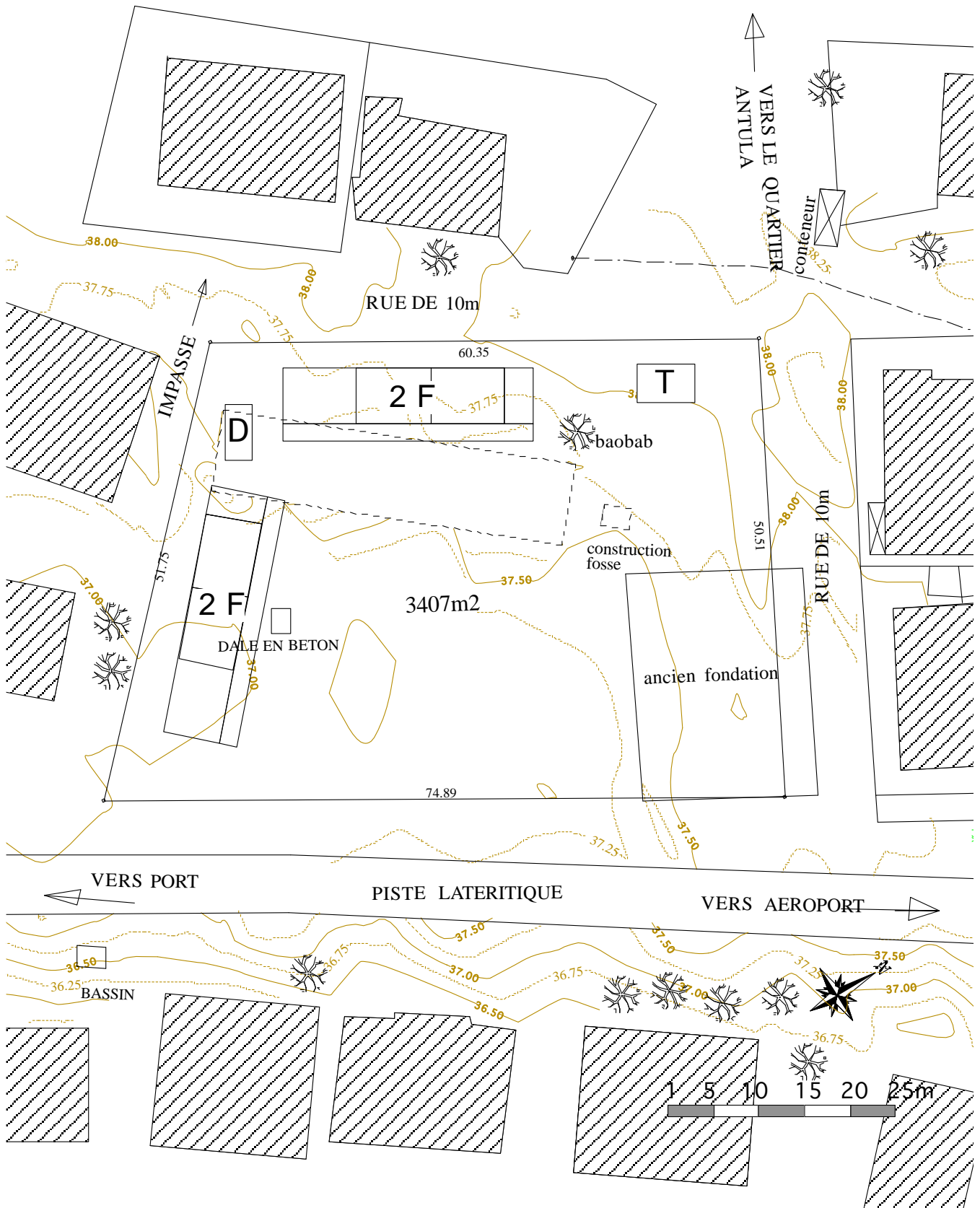


凡例

- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線



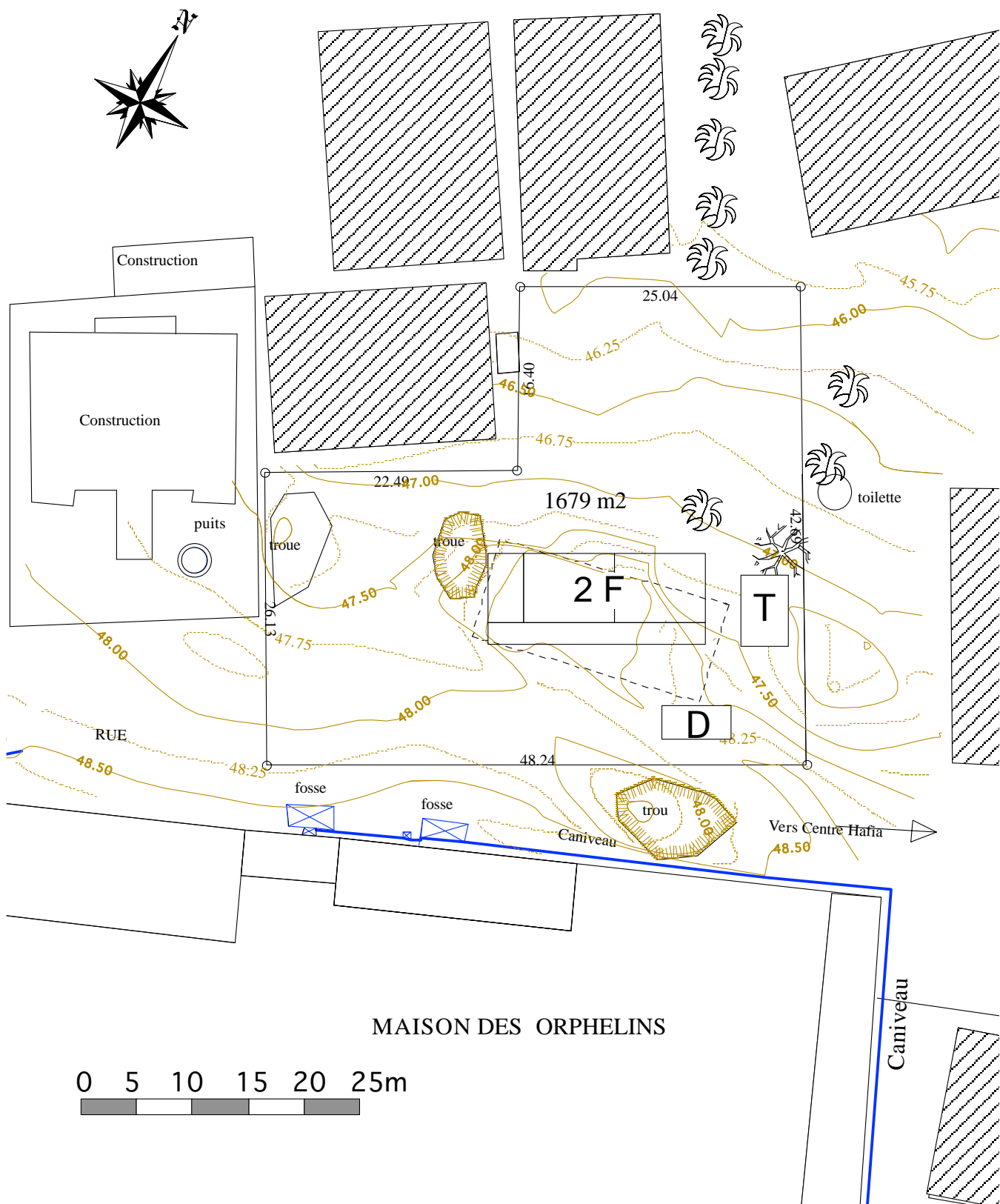
凡例

- |   |   |   |
|---|---|---|
|  計画建築物 |  既存建築物   |  住宅  |
|  残存構造物 |  便所      |  電線  |
|   |  校長室/物入れ |  電話線 |

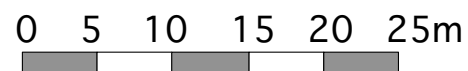


凡例

- |   |       |   |    |         |   |     |
|---|-------|---|----|---------|---|-----|
|  | 計画建築物 |  | CL | 既存建築物   |  | 住宅  |
|  | 残存構造物 |  | T  | 便所      |  | 電線  |
|   |       |  | D  | 校長室/物入れ |  | 電話線 |



MAISON DES ORPHELINS



凡例

計画建築物

残存構造物

既存建築物

便所

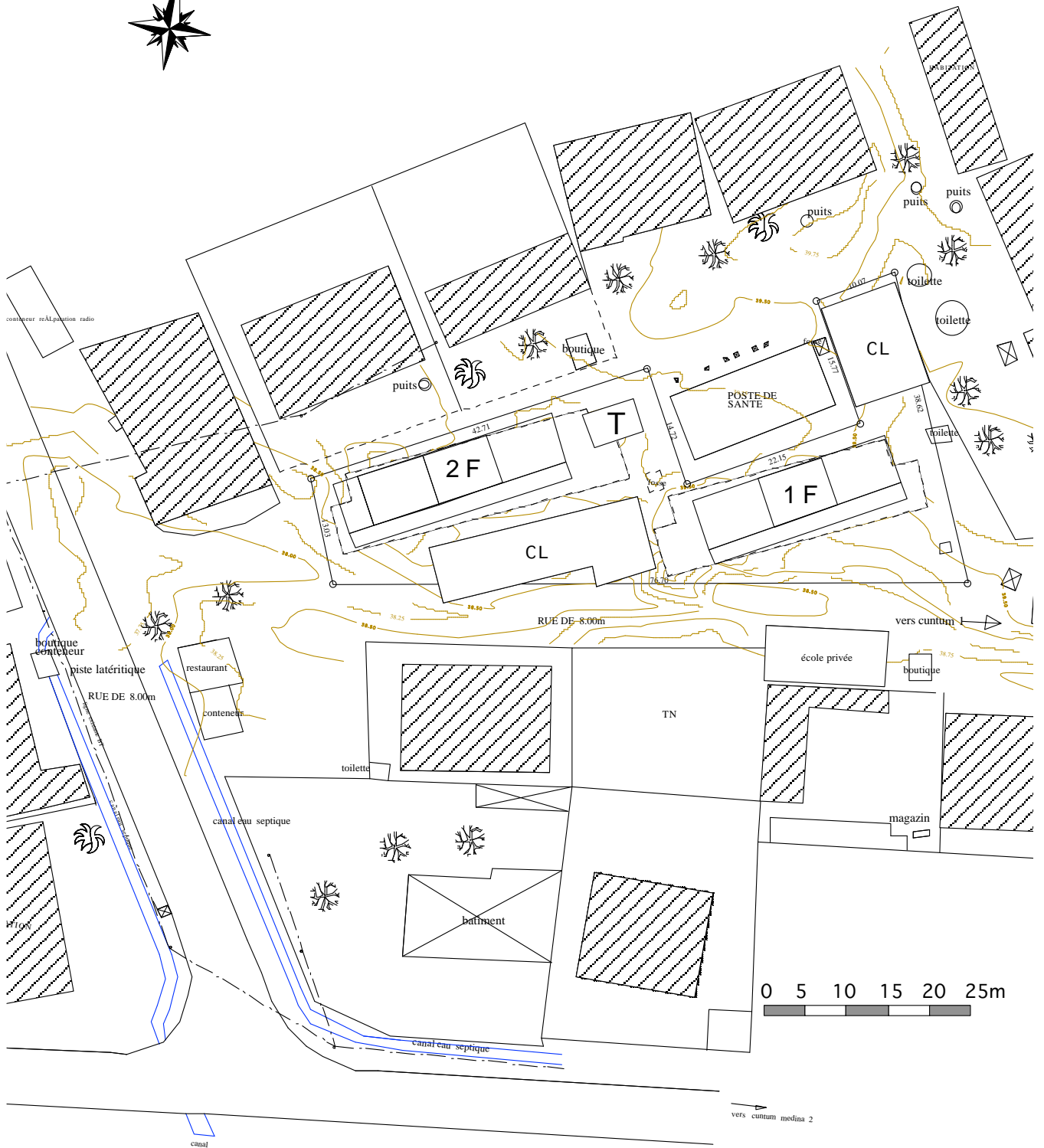
校長室/物入れ

住宅

電線

電話線





凡例



計画建築物



既存建築物



住宅



残存構造物



便所



電線



校長室/物入れ



電話線

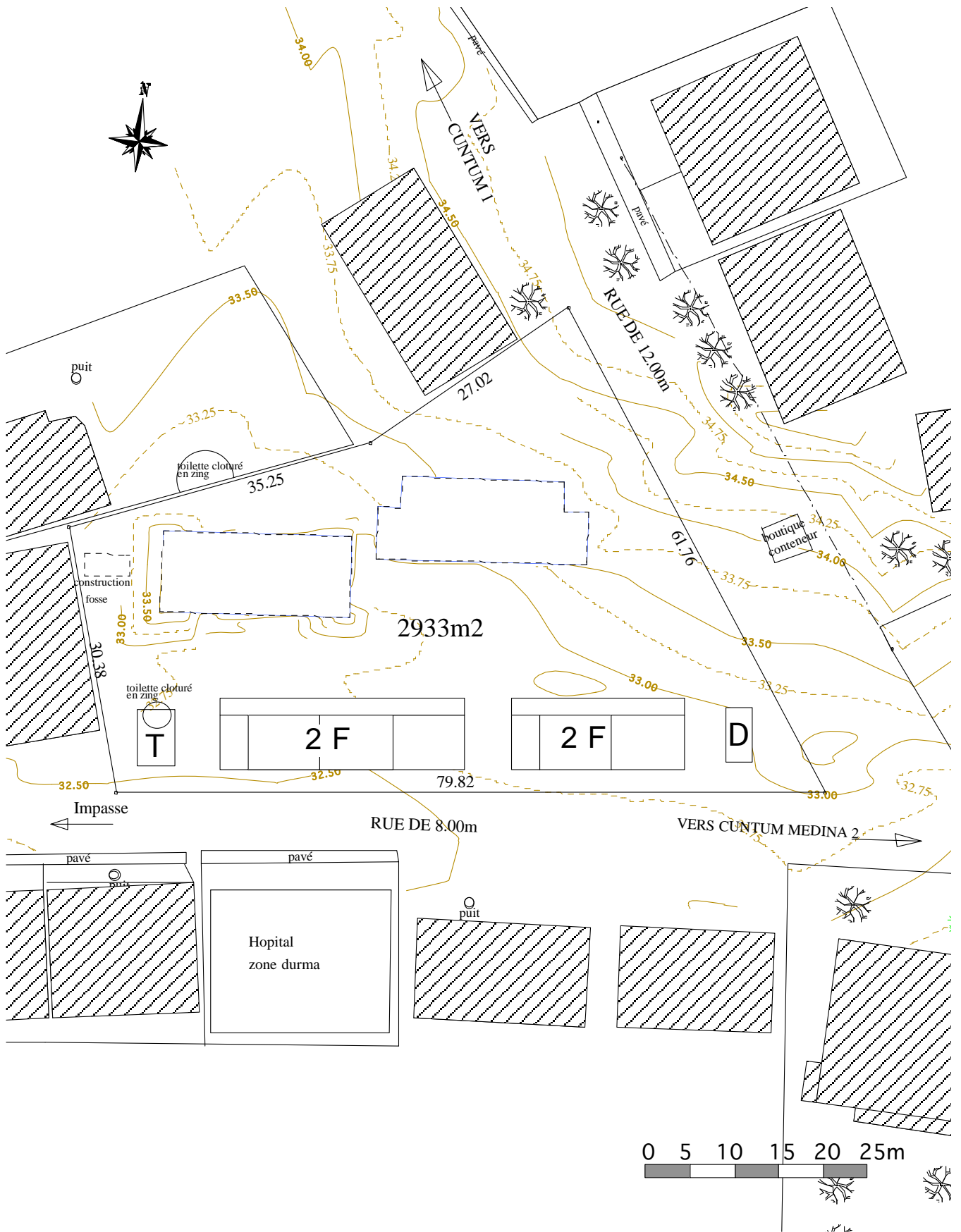


凡例

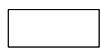
- 計画建築物
- 残存構造物

- CL 既存建築物
- T 便所
- D 校長室/物入れ

- 住宅
- 電線
- 電話線



凡例



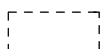
計画建築物



既存建築物



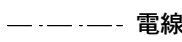
住宅



残存構造物



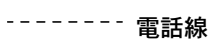
便所



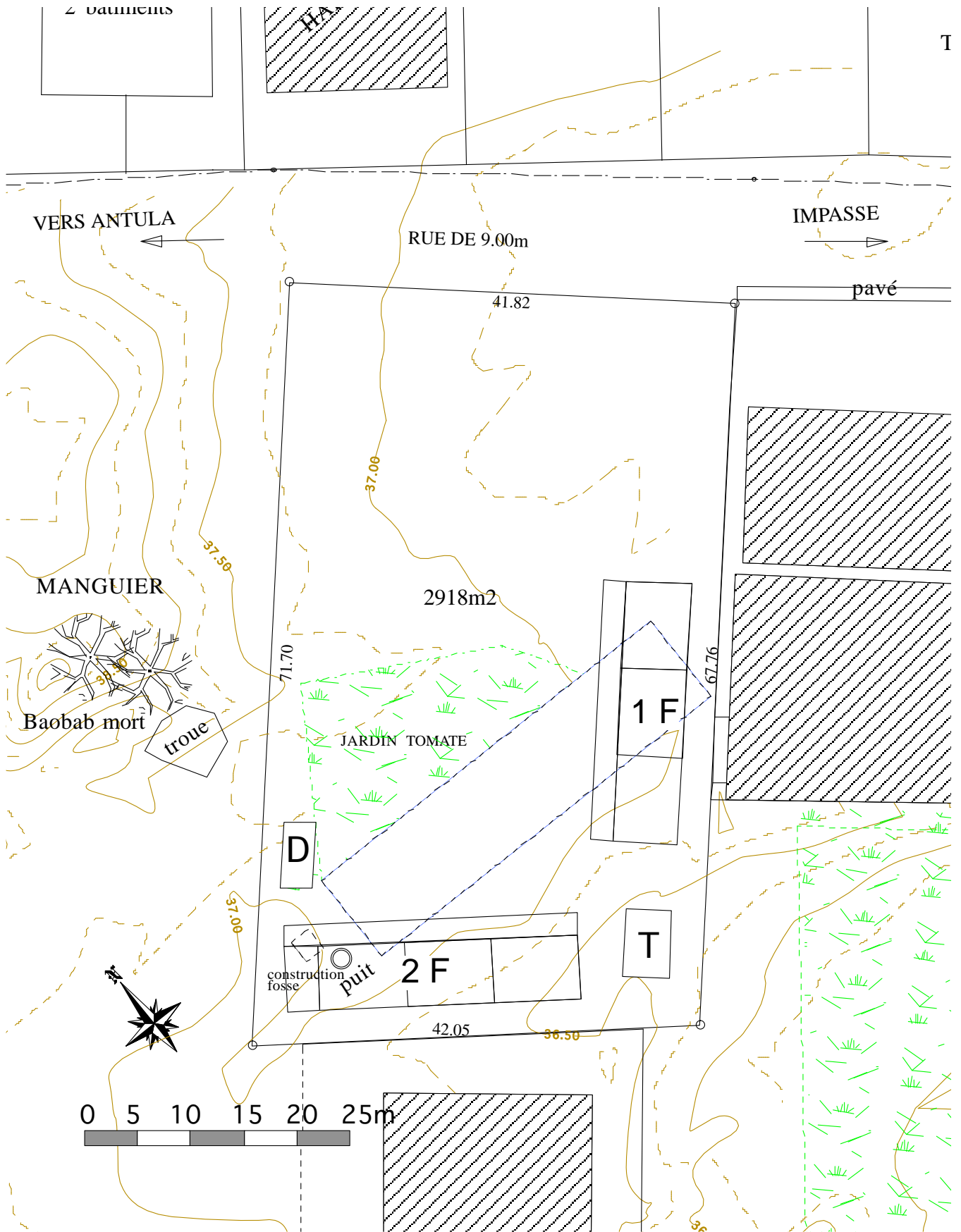
電線



校長室/物入れ



電話線



凡例



計画建築物



残存構造物



CL 既存建築物



便所



D 校長室/物入れ



住宅



電線



電話線